



12・1月の実験教室

3Dメガネを使って立体視りったいしに挑戦しよう

映画館やテーマパークで飛び出す映像えいぞうをみたことはありますか？立体映像という特別な映像ですね。普通の映画や写真は2次元(2D)と言って、上下左右の平面しか表していませんが、立体映像は3次元(3D)と呼ばれる上下左右の平面に奥行きを加えた映像になっているのです。

3Dに見せる方法にはいろいろな方法があります。今回は、この中で「アナグリフ方式」と言われる赤・緑の色つきメガネを使った方法で実験します。なぜ、色つきメガネを使うと立体的に見えるのかをいっしょに考えましょう。

●どんな実験なの？

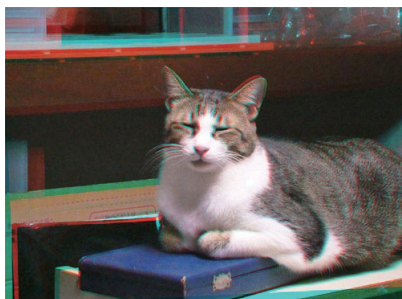
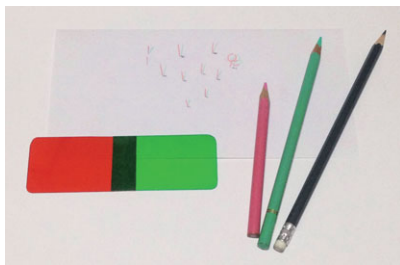
赤と緑(青でもOK)のフィルムを使って、色つきメガネを作りましょう。このメガネをかけると、どんなふうに見えるでしょうか？

今回は、みなさんに絵かんさつをかいてもらい、このメガネで観察します。皆さんが書いた絵も飛び出してくるでしょうか？

また、右の写真は普通の写真を工夫して、メガネをかけると立体的に見えるようにしたものです。実験の時に、みんなで確かめましょう。

●みなさんがもってくるもの

- 筆記用具
- 材料は、科学館で準備します。



(科学デモンストレーターズ)